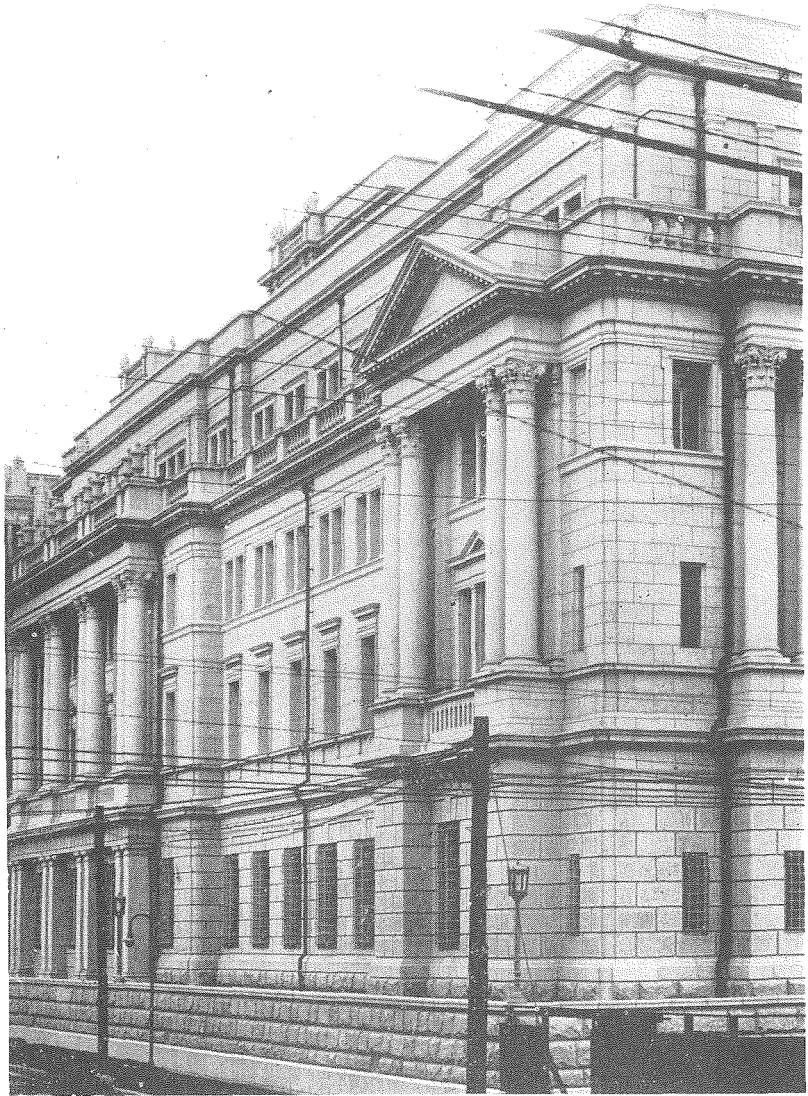


1
新
館
外
觀

日本銀行増築第一期工事概況

本工程に就ては既に昨年十二月號に工事施行狀況を掲げて詳説したが此處に竣工後の全容を主として寫眞によつて報導することにした。



所在地 東京市日本橋區本町一丁目一番地
(現本館北側)

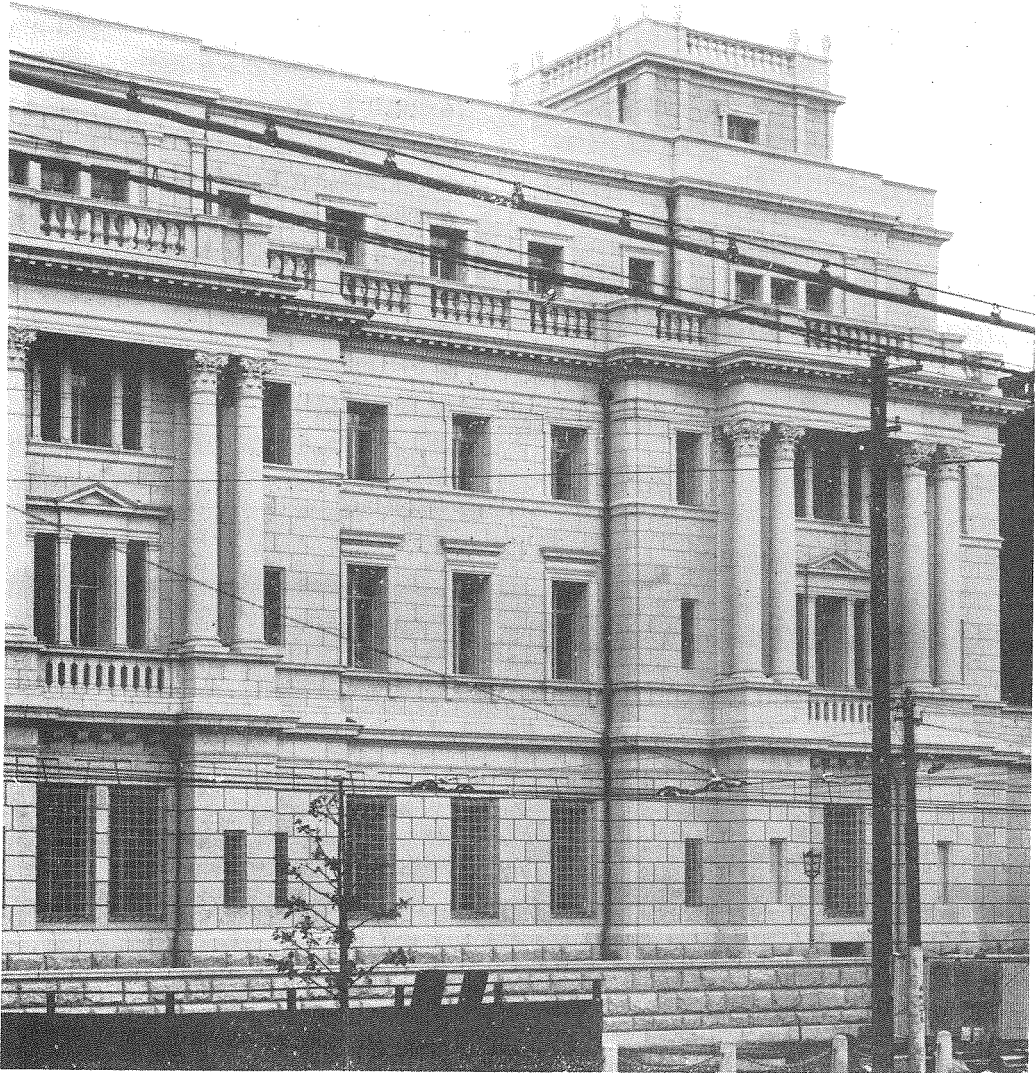
敷地 東西43間 南北25間(1,075坪)
建坪 間口(東西)200尺

奥行 (南北)138尺
面積 建坪709坪
延坪 4,488坪
階數 地上5階、地下3階

高さ 地上より塔屋扶壁まで 89尺8寸
地上より四階扶壁まで 77尺8寸

地下 深さ43尺5寸
樣式 伊太利復興式

用途 第1階は營業室及び客溜。第2階は重役用各室、會議室、喫煙室、食堂、配膳室。第3階及第4階各室は事務室。第5階は厨房及機械室、地階上、下兩層は金庫室。地



客は機械配管室等に使用する。

基 礎 地下43尺 5寸掘下け砂層の上に
總體鐵筋コンクリート版地形を設く。

主體構造 鐵筋コンクリートとす。

外部仕上 立面外装は全部石材にして岡山
縣産北木石、香川縣産青木石、茨城縣産稻
田石の三花崗石を主とし2階及3階の壁は神
奈川縣産白丁場石を使用す、陸屋根は敷瓦

を以て鋪裝し、客溜及廣間の天井は採光の
ため網入硝子二重屋根とし、其中間に防火
捲込鐵扉を裝置す

内部仕上 客溜及廣間等の床、腰羽目及營
業室窓口甲板、腰長押、幅木、獨立柱々脚
等は研磨せる花崗石を用ひ鋪裝す
客溜の柱頭、同礎盤及營業室の窓口格子、
屏障等は鑄金製なり。

營業室は一般にリノリユームを敷く。
二階重役用の各室、會議室、喫煙室及食堂等の床は寄木張、腰羽目及額縁はチーク材張。煖爐前飾は内地産各種の大理石にして其上部にチーク製羽目飾を配す。廊下は腰羽目に大理石を用ひ床の輪廓を大理石「モザイク」とし、其中央歩道に護謨タイルを敷く。

三階各事務室床はリノリユーム敷、各廊下は腰羽目及床輪廓に大理石を用ひ、中央歩道はリノリユーム敷とす。

五階厨房は床人造石研出し、腰タイル張とす。

各階段は護謨タイル張にして、蹴込み及腰羽目は大理石なり。

各階壁及天井は本邦固有の方法に依る石灰漆喰塗を施す。地階上層及下層の金庫室前廊下床は護謨タイル張、同壁及穹窿は特形磚瓦を以て裝す。金庫室内裝鋼板は天井、壁、柱をペンキ塗とし床はタイル敷とす。

建 具 外部窓には鐵製障子を嵌め、内部に於て主要出入口には鐵製防火戸を取付く各窓には二重に電動捲込防火鐵扉を裝置す。階段室及内外主要各出入口には電動捲込防火鐵扉を裝置す、内部二階廊下廻り各窓には砲金製硝子障子を嵌込む。

内部各室出入口には前記特殊のものを除き概してチーク製唐戸を釣込む。

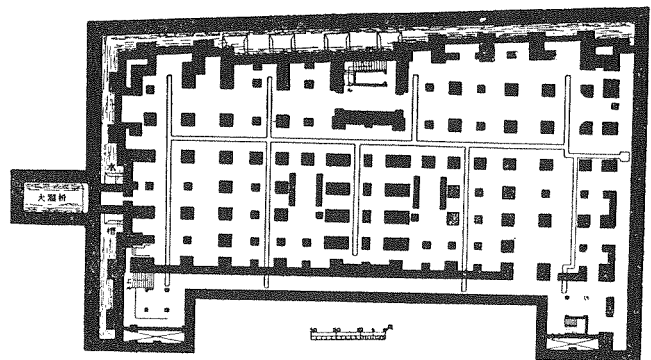
金庫設備 金庫周邊の外壁は構造コンクリート壁體を特種鋼鋼板を以て補強し更に其内側に鋼板三枚を取付く、主要

出入口鐵扉及通風孔鐵扉は米國金庫技師ホルムス氏に設計監督を依頼し、同國ヨークセーフ金庫製造會社をして製作せしめたるものにして、庫内隔壁に取付けたる諸扉は内國金庫業者の製作に係るものとす、尙庫内には警備の爲め米國マツクリントック會社專賣の音波應用警報機を裝置す。

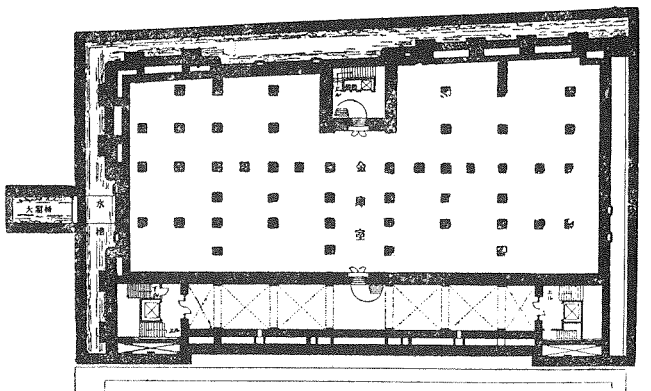
煖房設備 低壓真空式蒸氣煖房裝置にして在來汽罐より鐵管を以て各室の放熱器に送氣す、各室には溫度自動調節器を備へ、尙各室に遠距離溫濕度測定裝置を有す。

換氣裝置 第五階の機械室に空氣濾過機、空氣、洗滌器、空氣加熱器を設備し之により清淨ならしめたる空氣を送風機により3階

第一圖 地 窖 平 面



第二圖 地階下層平面



及4階事務室に送ることとせるが右兩階各室に於ける取扱事務の性質により送風にオゾンの混合をなし得る様オゾン發生機を裝置す。

地窖の機械室にも亦空氣濾過機、空氣加熱器、扇風機を設備し送氣管によりて地階上下兩層の金庫室及一階營業室に送氣するものとす、但し本設備は臨時のものにして第二期工事に至り機械室の全裝置完成と共に之に切替ふるものとす。二、三階各室及厨房、便所、地窖等には排氣管を敷設して機械的に排氣をなす。

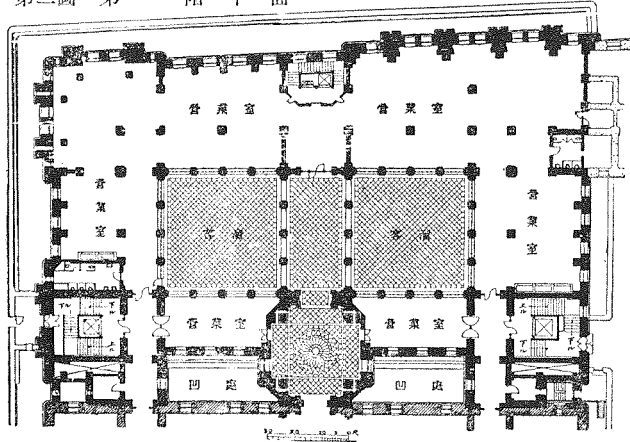
給水及び給湯裝置 厨房、配膳室及一部洗面器の給水は市水道を引用し、雜用には鑿井

水を使用す、給湯は市水道及鑿井水の二系統に分ち在來汽罐室に各々ストレージタンクを設け蒸氣により加熱し厨房、配膳室、各階洗面器等に給湯す。

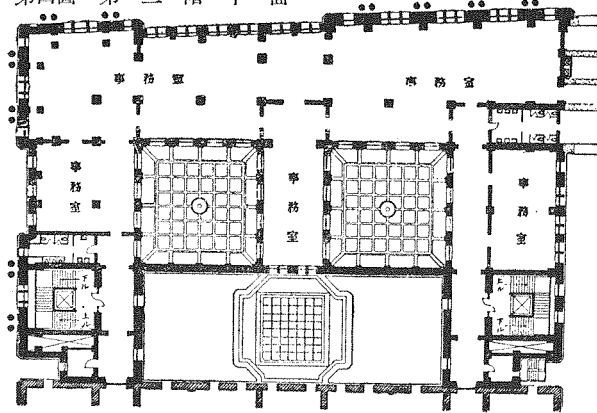
排水設備 各便所、厨房等の汚水は直接市下水道に放流し地階外周の排水は敷地内西側大溜榊に集まり、排水唧筒により市下水道に排出す。

消火設備 各階に三箇所宛消火水栓、消火器及火災報知機を設備す、消火栓には電氣押釦を裝置し機關室内の消火唧筒を自動的に運轉す、又西側構外にはサイヤミス、コンネクションありて消防署唧筒を連結し得る様裝置せり。

第三圖 第一階平面



第四圖 第三階平面



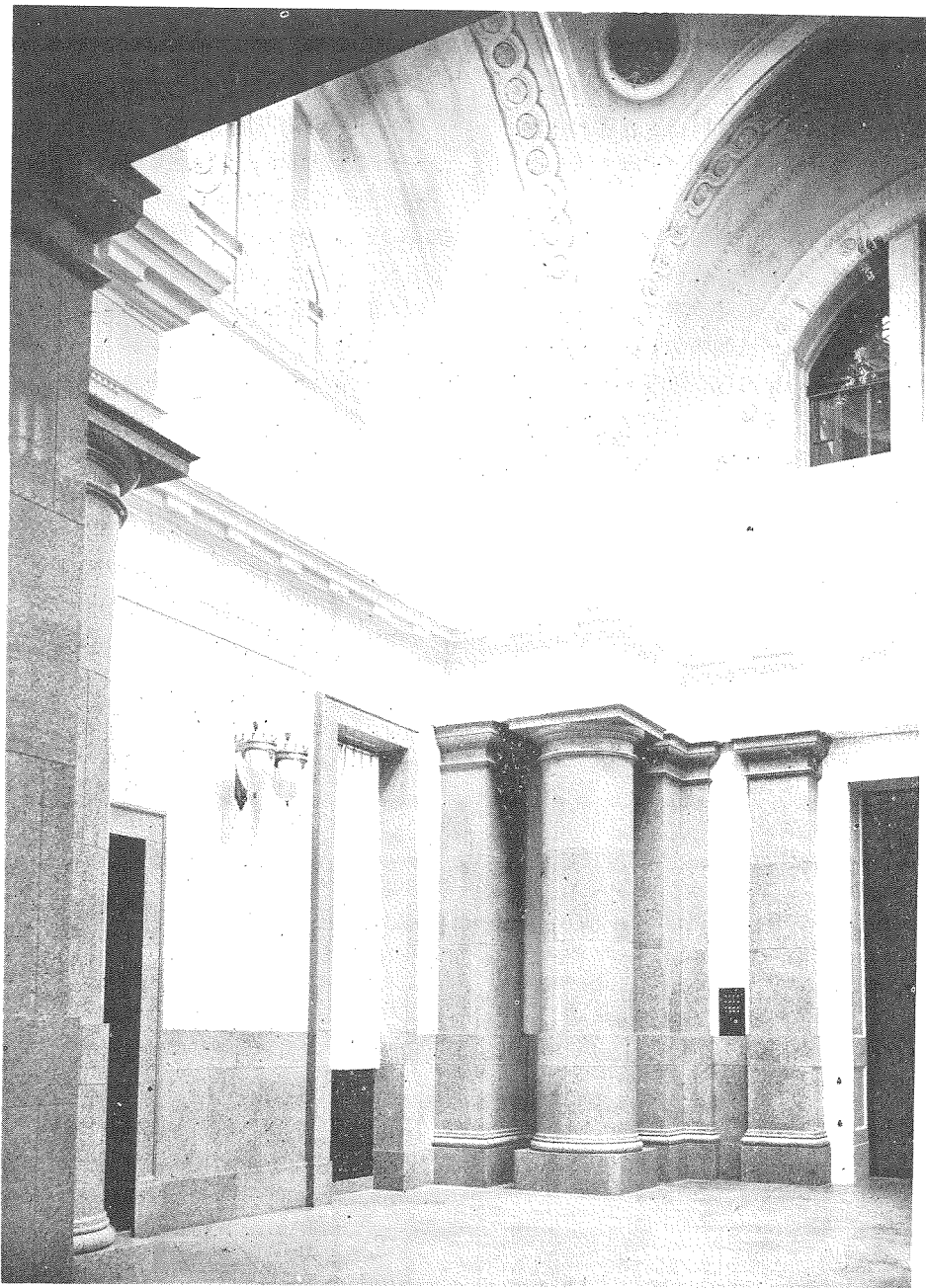
消火用水は源を市上水道及自家鑿泉に求むるものにして金庫室周囲空壕下の水槽は平素金庫室の防護に充てられ非常時には消火用水ともなす。

昇降機 乗用兼貨物用昇降機として三臺備へ尙料理用として二臺、書類用として二臺の小昇降機を備ふ。

電動力 新設の諸機械裝置に使用すべき動力は電氣を以てし、東京電燈株式會社より270馬力の供給を受く。

電氣諸設備 電燈1,500個、挿込栓180個、豫備燈44個、電話50個、電氣時計52個、金庫保護裝置、非常報知機、役員出勤退出表示裝置、呼出信號巡邏表示裝置、テロートグラフ等の諸設備をなす。

工事の施行 本工事の施工方法は下記の通り基礎工事、一般工事、直營工事の三種類に區分し、主として實費清算式請負の方法に依り施工せるもの



なるが全工事の施工總管理を株式会社大林組に依囑せるものとす。

基礎工事 一式請負

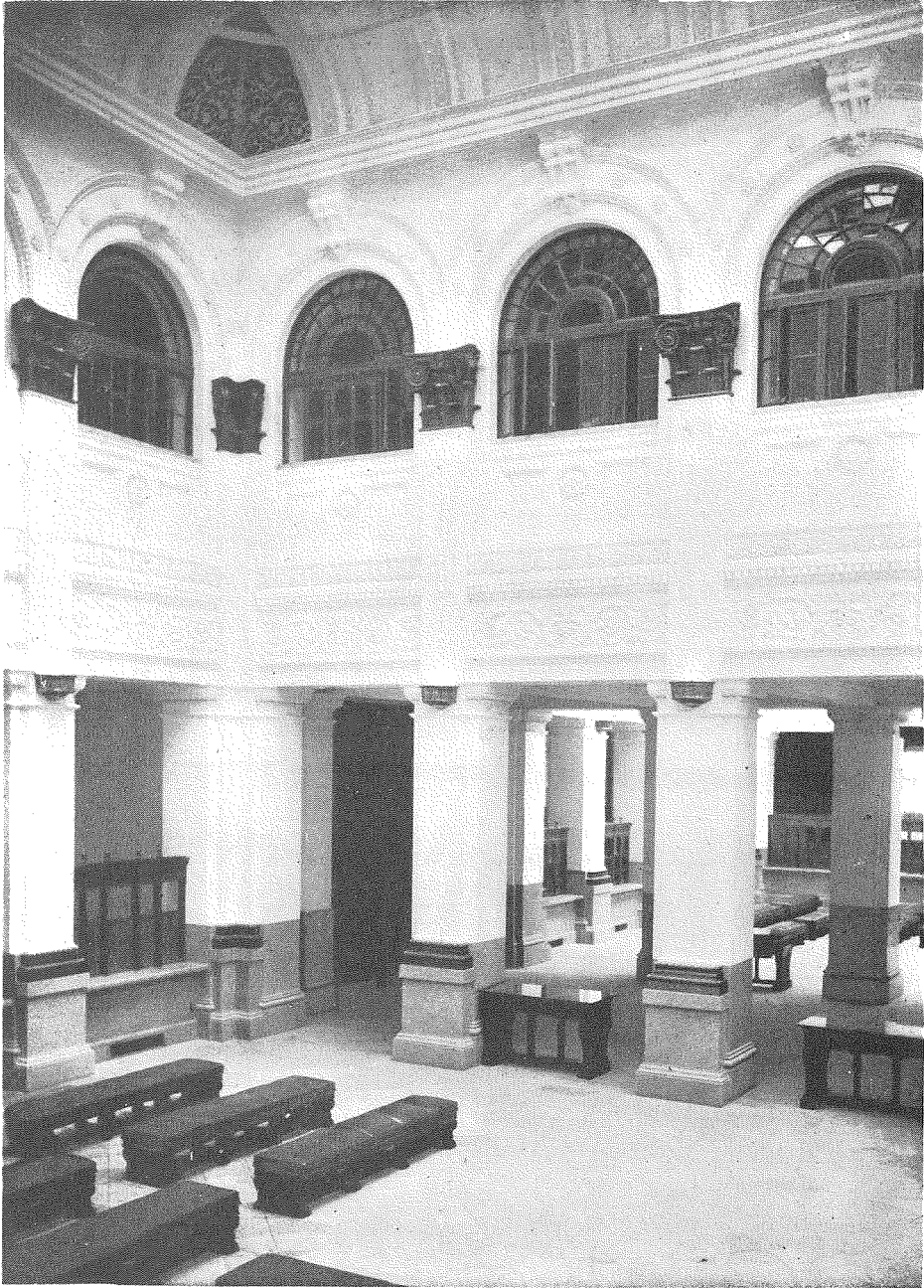
施工者 株式會社 大林組

一般工事 實費清算式請負

施工者 同上

直營工事 部分的工事を本行が直接専門業者に依囑施工せしめたるものにして、其主なるものは基礎矢板供給、構造鐵工事、外装石工事、金物工事の一部、機械的裝置工

3 營業場客溜の一部



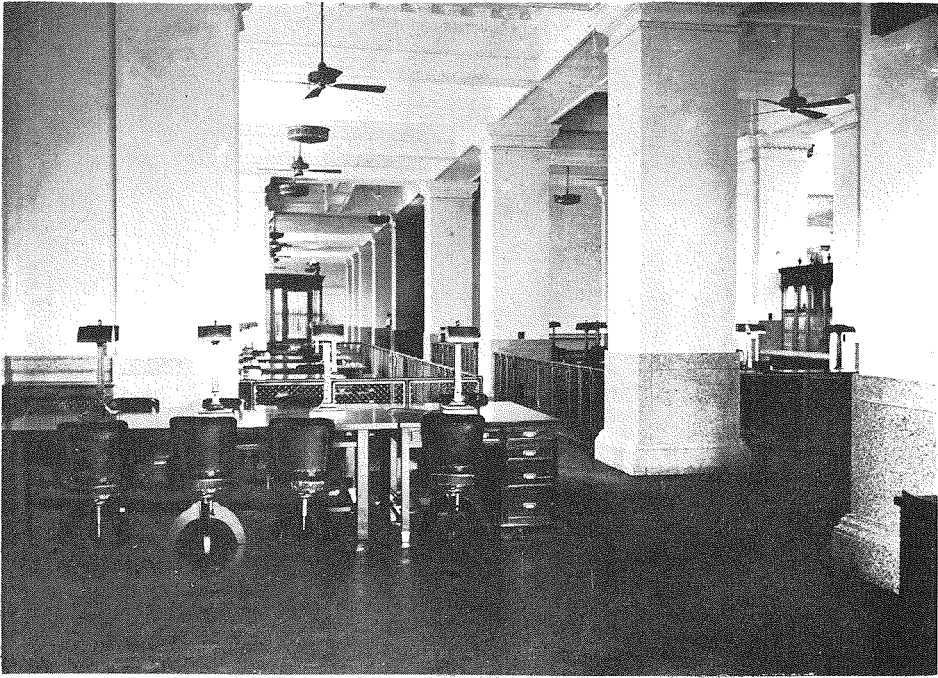
事、電気工事、衛生工事、金庫設備工事、家具等なり。

同 7年 4月30日 竣 工

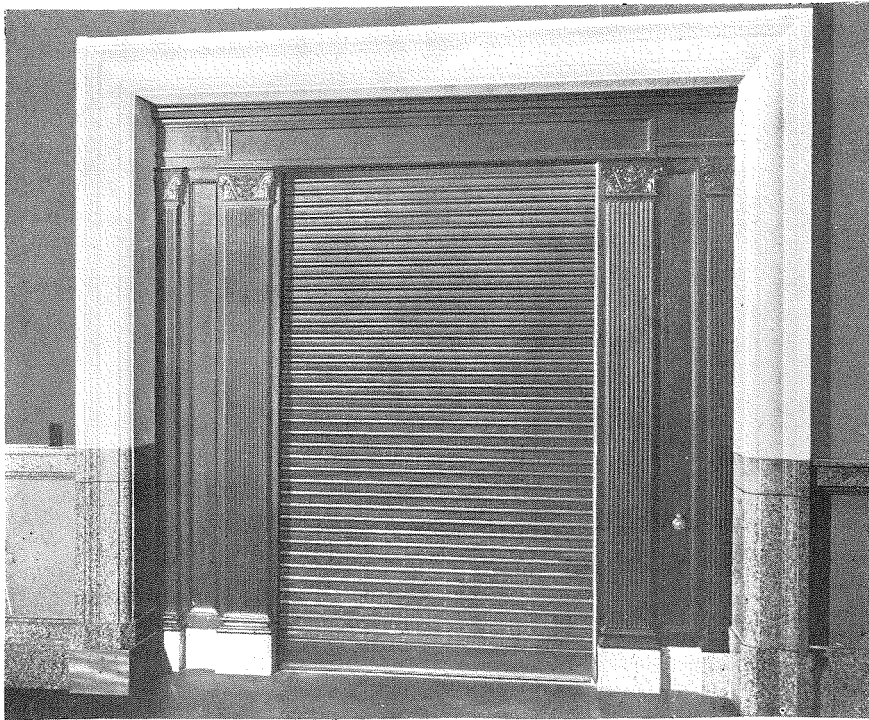
設 計 者 日本銀行臨時建築部

工 事 工 程 昭4和年11月16日 地 鎮 祭
 同 4年12月25日 起 工
 同 6年 3月28日 定 礎 式

技師長 工學博士 長野 宇平 治
 以 上

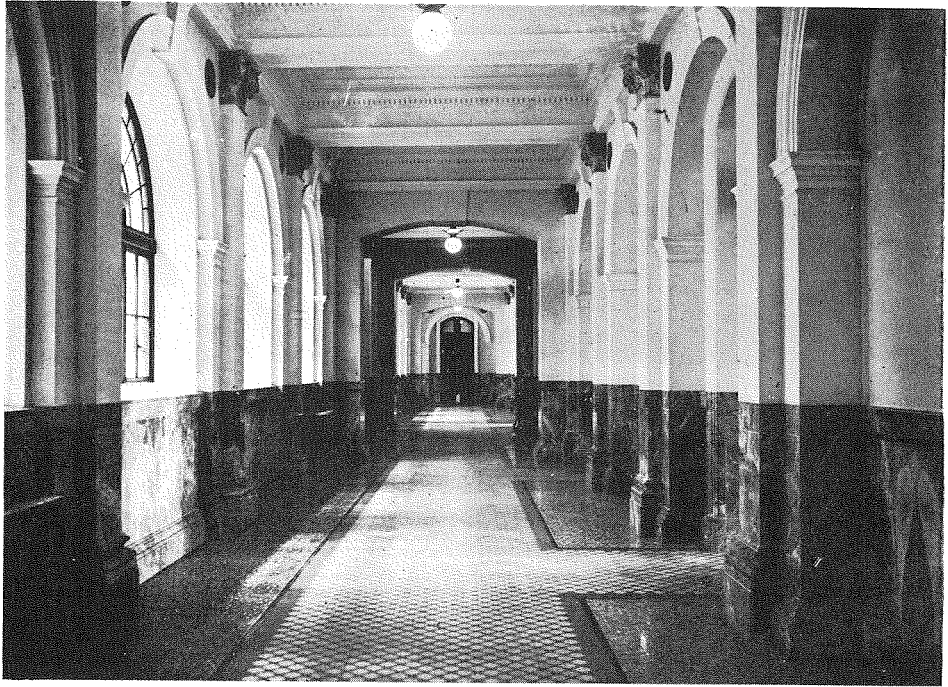


4 營業室の一部

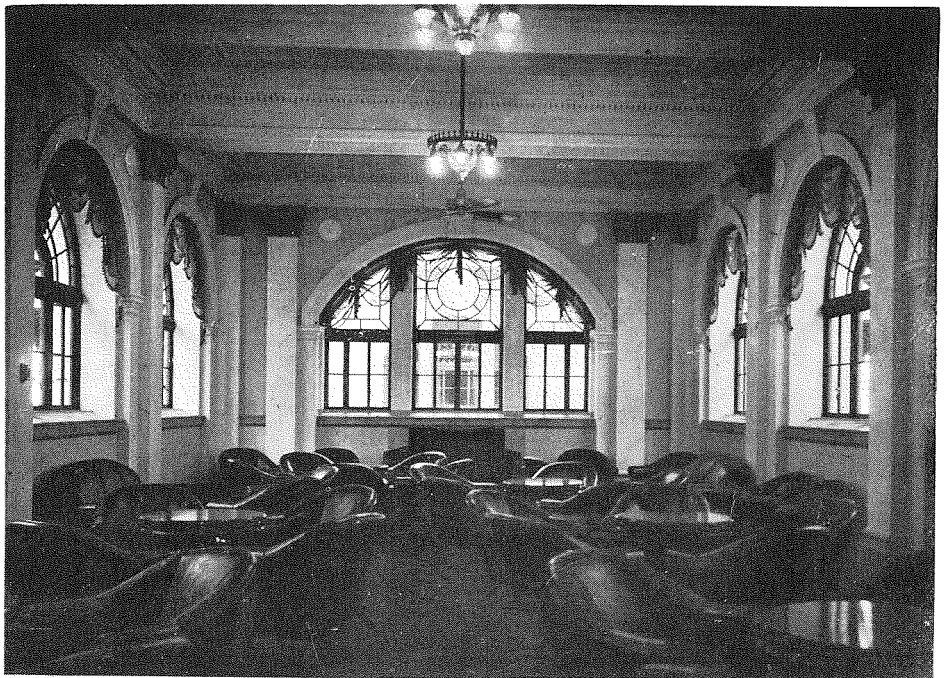


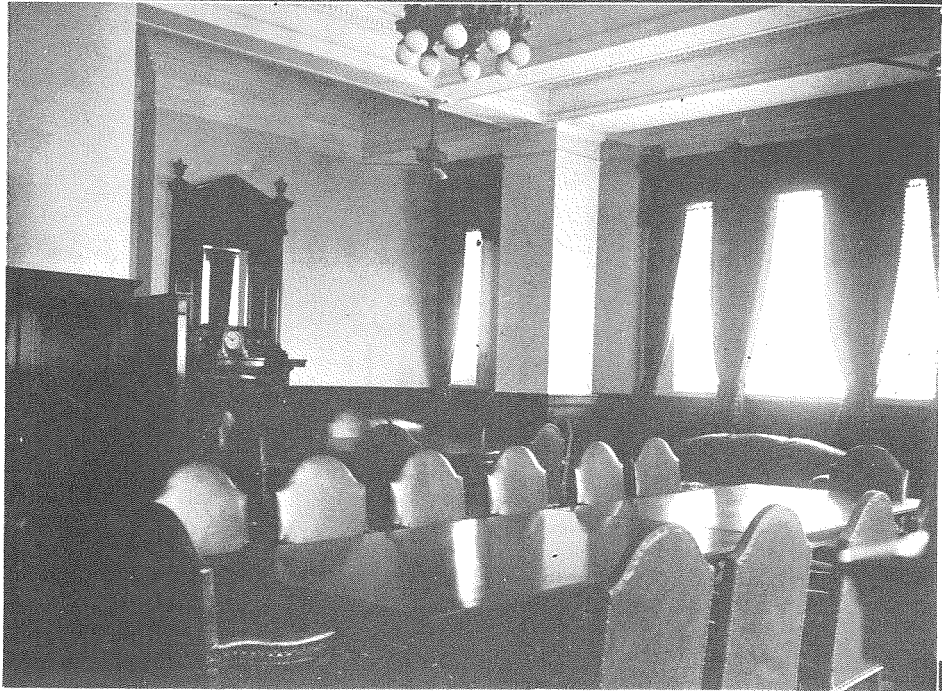
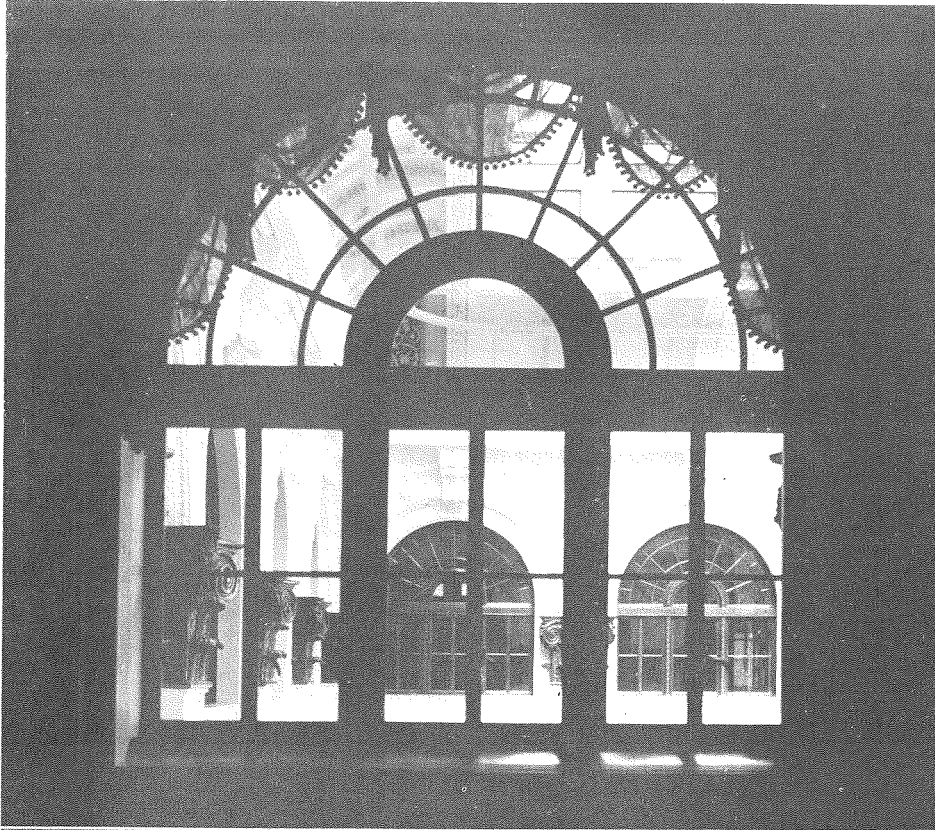
5 階段間仕切飾シャッター(大野式)各階の側窓にも鐵枠付きの同じシャッターが設備されてゐる

6
二階廊下

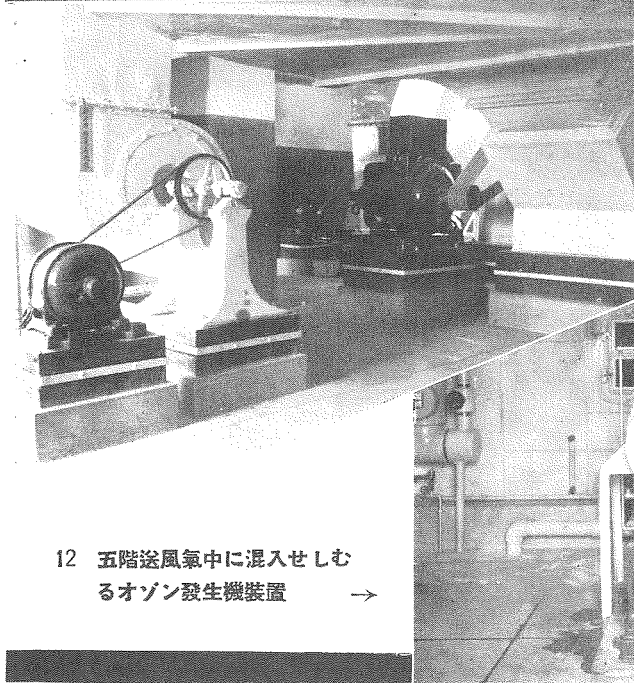


7
二階喫煙室(窓はブロンズ、製不二サツシ)

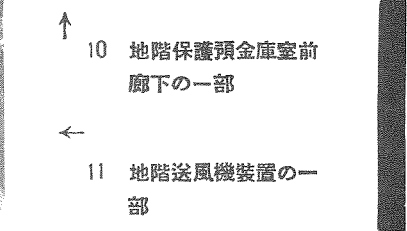




8 二階喫煙室より客溜上部を
見る。(ナロンス製不二サッシ)
← 9 二階會議室の一部



12 五階送風氣中に混入せしむ
るオゾン發生機裝置 →



↑ 10 地階保護預金庫室前
廊下の一部
← 11 地階送風機裝置の一
部

